

# 水 稲(キヌヒカリ・はるみ)

5月25日植え JA 2022 版

月	生育状況	主な作業	内 容 キヌヒカリ・はるみ (早生)
	【土づくり】		※共通①を参照
4	【育苗・苗準備】		※共通②・③を参照
5	【田の準備】	基肥施用	PKセーブマップ055：30kg/10a
	【田植え前防除】 ※必須	育苗箱施薬	育苗箱施薬は、本田への防除を軽減するために必要な防除。 (箱に均一に散粒し、かん水で葉に付いた農薬を落としておく)
6	【田植え後】 活着期	初期の水管理	1) 田植え後4～5日は水温を保つ為に深水にする。 (掛け流しはしない) 2) 上記以降は3～5 <sup>センチ</sup> 前後の深さに保つ。 (水の入る量をこまめに調整) 3) 間断かん水を基本に栽培。
7		中 干 し	7月5日～10日頃 ※田面に軽く亀裂が入る程度
	最高分げつ期 幼穂形成始期		1) 最高分げつ期 目安：7月10日頃 2) 幼穂形成始期 目安：7月15日頃
		追 肥 (穂 肥)	幼穂(2cm)を確認してから実施・生育の旺盛な田は量を少なく時期を遅らせる 出穂15日前頃 7月22日前後 化成肥料17-0-17：12kg程度/10a
8	穂ばらみ期	本田防除	紋枯病対策(出穂30日前～出穂期) 内穎褐変病(穂ばらみ期～穂揃期) 白葉枯病・ウンカ類・イネツトムシ害虫対策(7月下旬)
	出穂始期	出穂期前後の管理	出穂期目安：8月6日頃 防雀網・水管理・高温時対策 ※共通④を参照
9	登熟期	落 水	出穂35日後(9月7日頃) ※早過ぎる落水は品質を大きく低下させるので注意。
	収穫期	収 穫	時期目安：9月14日頃(青籾が15%程度残っている状態で収穫する) ※収穫が遅れると品質が低下する恐れがあるので注意する。
10	【収穫後】		※共通⑤を参照